

統計速報データ (No.16)

—総務庁統計局の「統計速報システム」から パソコン通信による—

I. 家計調査報告 (平成3年8月分速報)

平成3年8月分結果の概況

全世帯の家計

1. 平成3年8月の全国・全世帯の消費支出は325,127円で、前年同月に比べ名目(+7.0%)、実質(+3.6%)の増加となった。

これは、5月(+0.7%)、6月(+5.2%)、7月(+2.3%)の実質増加に続き、4か月連続の実質増加である。

2. 世帯の種類別にみると、勤労者世帯の消費支出は実質(+1.5%)の増加となっている。

また、一般世帯の消費支出は実質(+7.6%)の大幅な増加となっている。

3. 全世帯の消費支出の内訳をみると、交通・通信(+15.1%)、住居(+10.8%)、保健医療(+9.9%)、家具・家事用品(+9.8%)、被服及び履物(+6.4%)が大幅な実質増加となったほか、教養娯楽(+3.8%)、「その他の消費支出」の中の諸雑費(+0.3%)も実質増加となっている。

一方、教育(-8.7%)が大幅な実質減少となったほか、食料(-1.3%)、光熱・水道(-0.2%)も実質減少となった。

4. 費目別にみると、次のとおりである。

(1) 食料は84,042円で、名目では(+3.5%)の増加となったが、実質では(-1.3%)の減少となった。食料は、果物、飲料、酒類が大幅な実質減少となったほか、野菜・海草、外食、穀類、乳卵類も実質減少となった。一方、油脂・調味料、菓子類、魚介類、調理食品は実質増加となった。

○油脂・調味料……実質(+2.6%)の増加。

○果物……実質(-10.7%)の減少。

前年同月に比べ価格上昇率の高かった生鮮果物が大幅な実質減少。

○飲料……実質(-9.9%)の減少。

ジュースなどの「他の飲料」が大幅な実質減少。

○酒類……実質(-7.4%)の減少。

ビールなどが実質減少。

(2) 住居は16,909円で、名目(+15.0%)、実質(+10.8%)の大幅な増加となった。住居は、家賃地代、設備修善・維持が共に大幅な実質増加となった。

II. 9月の全国消費者物価指数の動向

総合指数は平成2年を100として103.4となり、前月に比べ(+0.2%)の上昇。前年同月に比べると(+2.7%)の上昇で、上昇幅は前月(3.3%)に比べ0.6ポイント縮小。これは、生鮮野菜、生鮮果物などの生鮮食品の上昇幅が大きく縮小したことによるもの。

生鮮食品を除く総合指数は103.4となり、前月に比べ(+0.5%)の上昇。前年同月に比べると(+2.8%)の上昇で、前月(3.0%)に比べ0.2ポイント縮小。

季節調整済総合指数は103.0となり、前月に比べ(-0.4%)の下落。

生鮮食品を除く総合の季節調整済指数は103.3となり、前月に比べ(+0.2%)の上昇。